

大阪湾広域臨海環境整備センター「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」 令和3年度 助成対象の研究の決定について

「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」は、大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施しているもので、大学・研究機関等における若手研究者の調査研究に助成を行い、その成果を通じて、大阪湾圏域の海域環境再生・創造に寄与することを目的としています。このたび、令和3年度の助成対象の研究について選考を行いました。本年度の選考結果は以下のとおりです。なお、事務局は特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議が務めました。

◆応募状況

令和3年4月1日から4月30日の募集期間において、12件の応募がありました。

◆選考委員会概要

開催日：令和3年6月14日（月）15時15分～16時45分
三宮研修センター 6階601号室

委員：大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度選考委員 13名
(特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議企画委員)

選考方法：選考委員による採点及び選考委員会での審議

◆選考結果

選考委員会の厳正な審査の結果、今年度の助成対象として6件の研究が採択されました。

表 助成対象の研究一覧

申請者名 (五十音順)	所属機関名称 及び役職名	助成研究テーマ
1 植木 尚子	岡山大学 資源植物科学研究所 准教授	赤潮形成を促進する海洋細菌の単離同定と、赤潮動態予測法の開発(その3)
2 梅原 亮	広島大学 環境安全センター 助教	DNAメタバーコーディングによる大阪湾の動物プランクトンモニタリング手法の開発(その3)
3 齋藤 光代	岡山大学学術研究院環 境生命科学学域 准教授	流域圏の土地利用変遷および洪水流出を考慮した大阪湾への長期栄養塩流出量の推定(その3)
4 中尾 賢志	大阪市立環境科学 研究センター 研究員	都市系面源由来マイクロプラスチックの海域への負荷量推定(その2)
5 西谷 豪	東北大学大学院 農学研究科 准教授	大阪湾から発見された寄生生物が麻痺性貝毒原因プランクトンのブルーム動態へ与える影響の解明(その2)
6 雪岡 聖	京都大学大学院 地球環境学 研究員	大阪湾における劣化指標に基づいた微小マイクロプラスチック生成ポテンシャル評価手法の開発